

2020 年度第 1 回 JSSR 指導医制度委員会議事録

日時：2020 年 7 月 28 日（Web 開催）18:00 - 18:40

出席者

相澤 俊峰、伊藤 康夫、酒井 紀典、佐藤 公昭、竹林 庸雄、
筑田 博隆、出村 諭、平井 高志、星野 雅俊、宮崎 正志、
渡邊 航太、田中 信弘（担当理事）
事務局：鈴木 めぐみ、橋本 顕二（あいうえお順、敬称略）

議題

1) 理事挨拶 田中 信弘先生

2) 委員長挨拶 相澤 俊峰

3) 委員自己紹介

4) 連絡事項の紹介

委員長から以下の事項について委員に紹介され、問題点について議論された。

- 今年度の指導医の継続申請について
 - 1) 対象者は全員 1 年延期され、2022 年 3 月 31 日までの延長の証明書が送られている。
 - 2) 2020 年度の更新予定者は 2021 年度の更新予定者とともに審査する。
 - 3) 2020 年度の継続申請が 2021 年に延期になり、直近 5 回の学会のうち 2 回以上参加を直近 6 年にするか 5 年のままにするか？
今年度の学会は参加者が少ないと考えられ、また申請期間には来年の学会が終了しているので、2016 年から 2021 年の 6 年間の学会のうち 2 回以上参加、症例も同時期の症例で良い。2021 年以降更新予定者は COVID-19 の感染次第だが、例年通り直近 5 年とする。
- 新規申請について
 - 1) 新規申請者に関しては通常通り行う。
 - 2) 申請期間は 10 月 1 日から 10 月 31 日（例年より遅い）。
 - 3) 毎年の新規申請者は 90 人程度である。
 - 4) 当委員会での書類審査は通常通りの開催予定だが、事務手続きの関係で遅れる場合がある。
 - 5) JSSR の医療安全対策・感染防止対策・倫理等に関する研修単位などの受講歴、日本脊椎脊髄病学会の参加履歴が、JSSR のホームページのマイページで確認可能となった。これを印刷したものが申請時に参加証の代用として認められる。
 - 6) COVID-19 の感染拡大のため、今年度の審査は委員が学会事務局に集まってできない可能性が高い。そのため、
 1. 申請書類のうち必要なもの（論文の別刷りなどを除く）を事務局でコピーし、各委員に均等に送付する。

2. 送付された時期に Web 会議を行い、田中委員長から審査のポイント等のレクチャーを受ける。
 3. 各委員が審査し、結果を事務局に返送する。
 4. 問題のある申請者について、事務局が資料を再提出させる。その資料を担当理事と委員長に資料を送付する。担当理事と委員長が Web またはメール審議を行い最終的な可否の判断を行う。
- こととなった。

5) 今後の検討課題などについて

- 1) JSSR 認定脊椎脊髄外科指導医の条件に異なる学会である JOA 認定脊椎脊髄病医が必要か、という議論について田中理事から説明された。現状、日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医を条件から外すのは時期尚早とされたが、今後更に委員会で検討する。
- 2) 委員長から、指導医の新規申請者の条件「脊椎脊髄疾患に関連する業績が 5 編以上あること（1 編は主演者・筆頭著者。他は共同演者・共著可）」は、学会の抄録でもよいという解釈だが、今後委員会で検討したい、と提案があった。
- 3) 会員からの質問の紹介
学会規定の第 8 条「3. 執刀医または第一助手として担当した手術症例の数が 300 例以上であること。」の解釈で、脊椎だけでなく四肢外傷の手術も含めてよいか？
申請要件には「執刀医または第一助手としての脊椎脊髄手術実績が 300 以上」と明記されているので、誤解のしようがない。

ほかには特に議題はなかった。

以上で 2020 年度第 1 回 JSSR 指導医制度委員会を終了した。

文責：相澤俊峰